

くにみ 議会だより

No.169
6月議会号



英語で子どもたちのあしたを明るく

中学校、小学校、幼稚園で英語活動を支援してくださったポール・ライダー先生が、夏休み中に任期満了となります。先生と一緒に学んで英語が楽しくなったよ！

(幼稚園英語活動のようす)

6月定例会

国・県補助事業の内示により大幅増額
(平成28年度一般会計補正予算) P2

国民健康保険税条例の一部改正など(条例改正・一般議案) — P4
一般質問(道の駅を拠点とした観光構想など7人が登壇) — P7
常任委員会レポート — P16
傍聴者からの声「活気のある議論を望む」 — P17

国・県補助事業の内示により大幅増額

加工施設の整備3704万円、道の駅等のWiFi整備3136万円などを計上

6月議会定例会は6月21日から24日まで4日間の会期で開かれました。

今定例会には、国・県補助事業の内示に伴う補正予算や国民健康保険税の算定率を決める条例改正など18議案が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。

一般質問では7人の議員が登壇し、10項目にわたって町政をたどりました。



平成28年度
一般会計補正予算

平成28年度補正予算のうち、一般会計(第2号)は、1億6599万円を増額し、予算総額93億599万円とすることを全員賛成で可決しました。

おもな増額は、国・県の補助事業の内示によるもので、加工施設整備3704万円や道の駅や観月台文化センターなどのWiFi整備3136万円などです。その財源はおもに補助金や町債(借金)でまかないます。

質疑

WiFi設置3か所の経費の内訳は

問 (松浦和子議員)
観光・防災WiFi

イステーション整備事業(道の駅、観月台文化センター、役場庁舎)3136万円、3か所それぞれの整備費用はいくらか。

企画情報課長 災害時の情報

やすため、また、町や道の駅の情報を発信する機能を持たせるために整備する。3か所の内訳は、分けて積算をしているわけではなく、現在総額で積算している。

商工費で減額をするのはなぜか

問 (八島博正議員)
商工振興費の風評

対策事業で460万円減、まちづくり交流推進費のアドバイザー委託料で518万円減とあるが、当初予算から3か月経たないうちに減額となる理由は。

まちづくり交流課長 業は、当初予

算時点では国の補助の全貌が決まっておらず、27年度の補助を基に計上した。国の予算が固まった後、上限額が設定されたため、差額分を減額した。

アドバイザー委託料は、同時進行で計上していた地方創生の予算が認められ、今回のアドバイザー委託料を28年度で減額した。

平成28年度一般会計 補正予算(第2号)の主な内容

【主な事業】

・加工施設の整備	3704万円
・道の駅、観月台文化センター、役場庁舎のWi-Fi整備	3136万円
・返礼品・基金積立などふるさと納税事業に係る費用	3000万円
・東日本大震災復興交付金事業完了による残金の返還	1381万円
・貝田ほ場整備事業に係る費用	1880万円
・学習支援として小・中学校へタブレットの導入	842万円
・その他	2656万円
計	1億6599万円

【主な財源】

・国地方交付税	475万円
・国・県からの補助金・委託金	5648万円
・前年度からの繰越金	3658万円
・町債(Wi-Fiステーション整備のための借金)	1170万円
・その他(ふるさと納税による寄附、基金繰入など)	5648万円
計	1億6599万円



加工施設の完成が待ち遠しい(農業市のようす)

**ふるさと振興基金の
総額は現在いくらか**

問

(八島博正議員)

4月に専決した補正予算と今回の補正予算で、ふるさと振興基金の残高に動きがある。今回の補正でふるさと振興基金の総額はいくらになったのか。

総務課長

基金による財源調を整えながら予算を組んだ結果、今回の補正で残高は約7300万円の見込みである。

**「くにみ農物語」は補正
予算に計上されているか**

問

(八島博正議員)

「くにみ農物語」はいつ作ったものか。今回の補正予算にも費用計上はあるのか。

企画情報課長

平成27年度の地方創生上乗せ交付金を活用し作ったものである。

**特殊技能を持つ職員は
何人くらいいるのか**

問

(浅野富男議員)

災害対策費で手数料7万9千円が計上されており、特殊無線技士養成課程受講料との説明があったが、様々な特殊技能を持った職員は全体で何人くらいいるのか。

総務課長

特殊技能を持った職員は、各課それぞれ

**学校管理費の送迎委託
業務増額の理由は**

問

(八島博正議員)

学校管理費の送迎委託業務33万1千円が計上されている。当初予算で出して、契約したら足りなくて計上したのか、別な理由があるのか伺う。

教育次長

当初に見込んでいた夏休みプールの送迎について不足したため補正をした。



トップセールスや連携自治体との交流などで国見町のPRに使用される

介護納付金分を大きく引き下げ

1人あたり約2・5%減で決定

国民健康保険税 条例

(要旨) 1人あたりの医療費の増加や国民健康保険税の被保険者の減少などの影



お互い笑顔で心身ともに元気に
(保育所・デイサービス交流会)

響で厳しい財政状況となっている。昨年度、3年ぶりに増額となったが、保険給付費が見込みよりも下回ったこと、平成30年度の国保

1世帯あたり4・1%（1か月あたり約600円）減、1人あたり2・5%（1か月あたり約200円）減となった。

制度改正に向けた国からの約1千万円の財政支援などにより、財政状況は若干改善し、前年度繰越金が約8千万円となった。

また、世帯の所得金額に応じた軽減区分のうち、2割、5割軽減を判定する総所得金額からの控除額を増額し、1世帯あたりの課税限度額を増額する。

被保険者の負担を軽減するため、前年度繰越金から1760万円を減税に充て、医療費分と後期高齢者支援金分の税率は据え置きとなった。介護納付金分は、

町の税額は県内平均のくりに位置しているのか

国への納付金が過年度精算により減額になったことを受け、35・5%税率の引き下げを行った。

国保税は各市町村で税額が異なるが、国見町の税額は県内の平均より高いのか安いのか伺う。

税負担額は、前年度より

問

(阿部泰藏議員)

1世帯及び1人あたりの税負担平均額
(年額/円)

	1世帯あたり	1人あたり
28年度	168,534	93,941
27年度	175,850	96,415
増減額	△ 7,316	△ 2,474
増減率	△ 4.1%	△ 2.5%

※1世帯あたり月額約 600円減
※1人あたり月額約 200円減

課長 保健福祉

税額は、県内では中位程度と

考えている。伊達管内では、平成26年度の比較で伊達市に次いで2番目に高い。

マイナンバーを利用する事務を追加

個人番号の利用・特定個人情報の提供に関する条例

(要旨) マイナンバーの情報連携対象となる独自利用事務の拡大により、追加する事務を規定する。

利用事務を拡大する理由は

問

(浅野富男議員)

マイナンバーの利用事務を拡大するのは本町だけか。ほかの法律に基づいて近隣市町村も行うものなのか。

総務課長

今回追加する事務は、これまででも実際に事務として行っていたもので、必要があつて追加するものである。

討論

反対討論

(浅野富男議員)

この個人番号制度は、国民一人一人を番号で管理し、個人の尊厳が否定されかねない。まだまだ安全上の問題も確立されていないことから、運用については中止すべきものと考え、本条例には同意はできない。

法人町民税を 引き下げ

国見町税条例等

(要旨) 法人町民税について、税率を9・7%から6・0%へ引き下げる。
軽自動車税について、軽4輪車のグリーン化特例措置を1年間延長する。
特定一般用医薬品等購入費を支払った場合、平成30年度から34年度分の個人町民税に限り、医療費控除の特例を創設する。

法人税率減で減収と なることへの対策は

問

(渡辺勝弘議員)

法人税の税率が引き下げられ税収が減ると思うが、何か対策はあるのか。
引き下げ3・7%
相当分は、国税である地方法人税を引き上げ、
税収全額を地方交付税として各地方公共団体に配分される制度になっている。

問題報道された車種も 特例の対象になるか

問

(渡辺勝弘議員)

軽自動車税のグリーン化特例について、某自動車メーカーで問題報道された車種の所有者も特例の対象になるか。

課長

適用車種は、平成27年4月1日から平成28年3月31日までに初めて登録された軽自動車、燃費基準に達したものである。最大で75%〜25%の軽減となる。軽減の判定は、軽自動車の検査証の記載に基づいて実施している。

一般用医薬品とは どのようなものか

問

(浅野富男議員)

特定一般用医薬品等を購入した場合の医療費控除の特例が新たに創設された。一般用医薬品とはどのようなものを指すのか。

課長

医療用医薬品から転用され、薬局などで広く一般に市販薬として出回っているものである。

税関係条例の適用 期間を延長

国見町税特別措置条例

(要旨) 企業立地促進法に基づく固定資産税免除の適用期間を、平成29年3月31日まで1年間延長する。

復興産業集積区域における町税の特例に関する条例

(要旨) 東日本大震災復興特別区域法に基づく固定資産税免除の適用期間を、平成33年3月31日まで5年間延長する。

国保税・介護保険 料の減免を延長

東日本大震災による被災者の国保税などを減免する条例

(要旨) 原発事故の避難者への減免のうち、状況がいまだ改善されていないことから国民健康保険税、介護保険料の減免を平成29年3月31日まで延長する。

一般議案

区域変更に伴い 新たに町道を認定

町道路線の認定及び変更

(要旨) 町道116号線の区域変更に伴い、新たに町道2211号線(延長93・0m)を認定する。また、町道2169号線の起点を変更する。

※下記以外の案件は全員賛成で可決されています。

議員名	松浦 和子	村上 一	井砂 善榮	佐藤 定男	村上 正勝	渡辺 勝弘	松浦 常雄	阿部 泰藏	浅野 富男	志村 良男	八島 博正
議案等											
国見町個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○

○：賛成 ●：反対 □：討論者
※議長(東海林一樹)は採決に加わらない。

議案審議 結果

町長の行政報告（抜粋）

- 県北浄化センターに留め置きされた汚泥は、5月末までに約49%が減容化され、順次、搬出されている。
- 熊本地震に伴う被災地への職員の派遣では、東日本大震災の経験を踏まえ、福島県からの要請に応じて5月30日から6月3日まで、職員1名を派遣した。
- 道の駅のソフト事業と6次化商品開発では、出荷組合員の資質と意識の向上を図るため「道の駅もてぎ」の講演会、町民を対象とした道の駅説明会を開催し、道の駅の愛称募集も行った。
- 国産産の献穀米「天のつば」100%で醸造した「あつかしさん（火入れタイプ）」が、モンドセレクション2016で金賞を受賞し、国外でも高い評価を得た。
- まちづくり事業は、9月22日の開催を決定した「義経まつり」を中心に実施を考えており、5月末には義経まつり実行委員会が組織され、具体的な検討と準備に入ったところ。
- くにみキッズフェスティバルは、子育て支援の新規事業として8月7日に観月台文化センターで開催される。創

作・体験活動を通して、親子で共通の楽しさを味わう「ふれあいの場」を設定したイベントを計画している。

● 結婚世話やき人募集については、結婚に向けてのアドバイスや出会いのきっかけを提供するなど、世話やき活動をしていただける方を募集している。

● ふるさと納税事業は、本年度よりインターネットを介しての申込み、クレジットカードによる寄付金の納入を可能とし、町の特産品の種類やお返しする割合を大きくしたことから、6月17日現在で2,572件、約2,600万円となった。

● 学校教育は、新年度はくにみ幼稚園138名、国見小学校412名、県北中学校250名でスタートした。

● 町にゆかりのある「故・石原蔵」氏が生前に収集した美術品34点がご家族から町に寄贈され、同じく寄贈を受けた県立美術館と共同で、6月11日から19日にかけて観月台文化センターで移動美術館「石原コレクション名品展」を開催した。

みなさんからの 陳情

6月定例会では陳情2件を常任委員会で審査し、結果は以下のとおりとなりました。

陳 情	提 出 者	結 果
国からの「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書の提出を求める陳情書	福島県教職員組合 中央執行委員長 角田 政志 福島県教職員組合 伊達支部 支部長 酒井 克幸	採択 (全員賛成)
地方財政の充実・強化を求める意見書提出の陳情について	自治労国見町職員労働組合 執行委員長 中條 伸喜	採択 (全員賛成)

※議長は採決に参加しない。



委員会での陳情の採択を受け、慎重審議を行い、意見書をまとめました。議事に諮り可決されたため、意見書を提出しました。

意見書

6月定例会では意見書2件を全員賛成で可決し、国など関係機関へ送付しました。

「被災児童生徒就学支援等事業交付金」による十分な就学支援を要請する意見書

東日本大震災によって経済的に困窮している家庭の子どもたちの就学・修学に対する支援が保障されるよう、平成29年度以降も全額国費での支援に必要な予算確保を求めるもの。

可決

地方財政の充実・強化を求める意見書

平成29年度の政府予算、地方財政の検討にあたり、歳入・歳出を的確に見積り、人的サービスとしての社会保障予算の充実、地方財政の確立をめざすよう求めるもの。

可決

～7人の議員が登壇し、活発な議論を展開～



町政を問う

一般質問

6月定例会

議員	質問事項	ページ
松浦 和子	道の駅を拠点とした町の観光構想は	8
	女性委員を増やす取り組みは	
松浦 常雄	大枝湛水防除施設のポンプの備えは十分か	9
	耕作放棄地などの雑草について所有者への指導は	
佐藤 定男	11月の町長選挙に立候補する意思是	10
村上 一	結婚世話やき人事業に期待	11
	加工施設で町の食文化の掘り起こしを	
浅野 富男	執行部と議会の信頼関係を損なうような事態は避けるべき	12
渡辺 勝弘	有害鳥獣問題解決のため協議会を設立すべきでは	13
村上 正勝	道の駅を成功させるための考えは	14

質問、答弁は要約して掲載しています。会議録全文は、町議会ホームページに掲載予定です。[<http://www.town.kunimi.fukushima.jp/groups/gikai/>]

国見町議会ホームページ → 会議録検索 → 会議録検索システム → 会議録検索システムへ

一般質問とは、議員が町政全般にわたり執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い、政治姿勢を明らかにするものです。

Q 道の駅を拠点とした町の観光構想は

A 観光資源を活かし観光振興に取り組む



松浦和子議員

問 外国人旅行者を含めた町内外の方を対象に、道の駅を拠点とした観光スポットにどのようなことを考えているか。

町長 ハード面では、阿津賀志山防塁など、ソフト面では、国見バーガーなどの食、鹿島神社の例大

祭といったお祭りなどが重要な観光資源であると考えます。今後、町の観光資源を活かしながら、道の駅を拠点とした観光ルートの設定や他市町村との広域観光の推進などに取り組み、町内外はもちろんだが、外国人観光者の誘致などに鋭意取り組んでいく。

問 町のシンボルである阿津賀志山山頂の整備が喫緊の課題と考えるが、阿津賀志山整備構想にはどのように位置づけられているか。

企画情報課 課長 平成20年に策定したものは構想段階のもので、土地利用の方向性や課題を明らかにすることが主の目的である。山頂の眺望は大変すばらしいが、季節ごとの話題に乏しいことや安全性などの課題、エコツーリズムなど新しい観光への対応が未成熟と指摘されている。森林整備計画との

問 町所有の土地で長坂峠に続く道は、歴史まちづくり計画の事業に含まれているか。

企画情報課 課長 ハード面では、阿津賀志山防塁の下二重堀地区、国道4号北地区、奥山邸の周辺整備の3か所で計画している。長坂峠の下の部分は、国道4号北地区で検討を進める。

問 町内の観光が主流である。町の財政状況などを勘案し、「ないものを創るより、今あるものを伸ばす」考え方で進めることが、国見の身の丈に合った観光づくりにつながるかと考えている。

問 外国人旅行者に町の魅力を的確に発信し、誘致するための施策はあるか。

住民生活課 課長 平成28年度は、行政委員会、各付属機関とも任期中であり、昨年度と委員構成は変わらない。町民の様々な意見を反映できるように、特に女性の参画を十分に意識しながら積極的な取り組みを進めていく。

関係や防塁が国指定史跡で制限があり、すぐに具体化できるものではなく、長期的スパンで進めていく。

企画情報課 課長 観光スポットというだけで人は来ないのではと指摘されている。

現在は体験・体感型の観光が主流である。町の財政状況などを勘案し、「ないものを創るより、今あるものを伸ばす」考え方で進めることが、国見の身の丈に合った観光づくりにつながるかと考えている。

女性委員を増やす取り組みは

問 平成27年9月定例会で町の各種委員会の女性委員の割合を質問した。その後、町はどのような取り組みをしているか。

Q 大枝湛水防除施設のポンプの備えは十分か

A 冠水は記録的な豪雨によるもので、特別な状況がない限り増設は困難

問 昨年9月の台風による大雨で、川内地区の農地が一部冠水した。

地域の人々は、用水路や湛水防除施設のプールに泥が堆積し、ポンプが十分稼働しなかつたためではないかと心配している。事実はどうだったのか。

町長 湛水防除施設については、ポンプ自体の給水能力の低下は見られない。記録的な豪雨による阿武隈川の水位上昇と内水位の上昇により、4台のポンプでも排水しきれなかつた。

問 昨年9月に冠水した面積はどのくらいか。

産業振興課長 川内の新割地区を除いて水田が約1・3千畝、果樹畑等が約6・0千畝。新割地区では水田が約1・2千畝、果樹畑等が約3・0千畝である。

問 農地の冠水は、川内北川原の用水路の末端に泥が溜まりすぎていることも一因ではないかという見方もある。この用水路の泥上げは最近行っているか。

産業振興課長 湛水防除施設の一部として上流675畝は町で管理している。今年3月には400畝行った。残275畝は、伊達市と協議を進め、今年度中に対応できるように検討する。

問 太陽光発電などの開発により、山からの鉄砲水による農地の冠水も心配されている。将来を見据えた湛水防除施設のポンプの増設が必要ではないか。

産業振興課長 開発はそれぞれ法律により安全性が担保される。また、湛水防除施設の増設には整備基準があり、気象状況の大きな変化や流域面積の拡大などがない限り、増設は困難である。



普段は穏やかな湛水防除施設

耕作放棄地などの雑草について所有者への指導は

問 耕作放棄地や工事の残土の捨て場の雑草は、現在人の背丈ほどに伸び、つる草は周囲の農地へ這い出しており、今年も苦情が寄せられている。土地の所有者や土建業者へどのように指導していくのか。

産業振興課長 農地は、毎年農業委員が巡回し、実情を把握して、利用意向調査などを実施している。農地保全のための指導などの規定があり、制度に基づき対応している。

問 冠水するおとどのような被害がでると考えているか。

産業振興課長 県の「農業災害の手引」によれば、冠水した時間や果樹、水稲などの品目にもよるが、

産業振興課長 湛水防除施設の一部として上流675畝は町で管理している。今年3月には400畝行った。残275畝は、伊達市と協議を進め、今年度中に対応できるように検討する。

産業振興課長 開発はそれぞれ法律により安全性が担保される。また、湛水防除施設の増設には整備基準があり、気象状況の大きな変化や流域面積の拡大などがない限り、増設は困難である。

産業振興課長 農地以外の土地には法的に指導の権限がなく、近隣住民の迷惑にならないよう、適切な管理をお願いしている。



松浦常雄議員

Q 11月の町長選挙に立候補する 意思は

A まずは任期を全うし、改選までの 5か月間で考えていく



佐藤定男議員

今も除染作業は
続けられている



かりと作っていくことも太田町長には求められていると思う。
11月に行われる町長選挙に立候補の意思はあるか。

町長

5つの目標を掲げ進めてきた

の中で全力で一生懸命やってきましたということ
は明言する。

今後は、町民の皆様
にさらに協力をいただ
きながら少しでも修正
すべく鋭意対応してい
きたい。

が、まだ道半ばの部分もある。今後さらに復興再生の光が大きくなるよう、また、国見町が持続可能性のある発展を遂げていくためにも、オール国見の体制で交流連携の輪を広げ、将来の町の基盤作りに取り組んでいくことは、私のみならず、すべての皆様の課題と認識している。

まずは残された任期に全力を尽くし、改選まで5カ月あることから、町民や後援会などの意向を確認しながら最終的に結論を出したい。

問

国見町の復興
とともにさらなる発展を目指し、町は

「歴史まちづくり」と「道の駅開業」に取り組んでいる。この2つの事業はまさに国見の未来が懸かっている。これらの土台をしつ

でないのは除染問題だったと思う。太田町長は、いち早く復旧復興町民会議を立ち上げ「国見の未来をみんなで作くりましょう」を合言葉に大きな成果をあげてきた。役場庁舎が完成し、観月台文化センターも本来の役割を取り戻し、復興を実感できるようになってきた。実績とは別に何か反省点はあるか。

町長

東日本大震災からの復興の状況が、私の思いと若干かけ離れていたことが一つの反省点と

思っている。私自身が県の公務員としてこれまで培ってきた経験からいけば、思い通りにいかないことも多かった。一步一步なんとかやってこられたが、なかなかスピーディーにできなかった。
しかし、能力の限界

問 町長就任後3
年半が経過した。就任当初から東日本大震災後のかじ取りということで大変なプレッシャーとご苦労もあったかと思う。改めて振り返ってどのような思いか。

町長

東日本大震災発生時には、私は日赤福島県支部の事務局長の職にあり県全体の復旧復興に当たっていた。町長選挙に際し、国見町内の各層から立候補の要請を受け、熟慮の末に、ふるさと

国見の復旧復興に少しでも役に立てればと就

問

町長就任時、
一番対策が進ん

任した。今日まで全身全霊でやってきた。
就任以来、「オール国見」の精神と「復興、絆、国見の未来をみんなで作くりましょう」のスローガンのもと、5つの目標を最重要課題とし、町民の皆様への元気を取り戻してもらいたいという思いで元気活力事業などに取り組んできた。
ふるさと国見のために、任期を全力で全うすることが今の重要な課題と考え、しっかりと対応していきたい。

Q 結婚世話やき人事業に期待

A 少子化対策や定住促進の要になる

問 結婚世話やき人の募集や人選は、どのように進めていくのか。

交流も図りたい。この事業は、少子化対策や定住促進に向けた取り組みの要になると考えている。

町長

今年度、ボランティアとして10人程度登録する予定である。

問

この事業で結婚が成立した場合、以前行われていた報奨金などは考えているか。

活動にあたり研修会などを実施し、県の世話やき人制度と連携して広域的な情報交換や

保健福祉課長

「結婚世話やき人」

は、アドバイスや出会のきつかけづくりを目的とした制度。結婚に結び付くのが何よりだが、そこまで負担をかけずに活動してほしい。報奨金は、今後の活動の状況を十分見極め検討したい。

問

若者だけでなく、結婚を希望する40代、50代の方々も取り上げていくべきではないか。

保健福祉課長

活動対象の独身者に年齢制限はない。結婚を希望する方はどなたでも対象となる。

結婚世話やき人説明会には約50人が参加した



加工施設で町の食文化の掘り起こしを

問

旧森江野季節保育所を改修し農産物加工施設が設置される。農家のお母さん方が中心に携わると思うが、業者の協力も必要ではないか。

まちづくり交流課長

道の駅製造部門での活用も想定しているが、一般業者には利用を控えてもらい、民間のお母さんたちに主力になって

使ってほしいと考えている。

問

施設で加工・開発された品物を試食するコーナーの併設は考えているか。また、年数回イベントの開催計画はあるか。

まちづくり交流課長

6次化商品の製造・販売を目的に、県の保健所の指導のもとで設置する施設であり、加工施設内での試食会などの開催は可能に近い。加工施設以外の森江野町民センターの施設を活用しての試食・試飲会、小規模のイベントなどは実施を検討している。

問

民族研究家の結城登美雄氏が国見の食文化の掘り起こしで何度か来町しているが、今後も事業にご協力いただけるのか。

まちづくり交流課長

国見のもの」を再発見し、発信させ、発信しているという町のコンセプトと考え方を同じくする方で、先生自身も直接町に入って地域の方々と懇意にされており、今後も加工施設へのノウハウの提供も含めて継続してご支援、ご協力をいただきたい。

町長

6次化は、町の重要な課題の一つであり、風評被害の払拭にもつながる。農商工連携の意味で町全体の産業が回ると考えており、施設はそのベースになると認識している。今後ともしっかりと施設を立ち上げ、産業全体の振興に結び付けていきたい。



村上 一議員

Q 執行部と議会の信頼関係を損なうような事態は避けるべき

A 今後は適時適切に報告していく



浅野富男議員

の活性化の中核施設としての最重要プロジェクトであり、鋭意推進を図っていきたい。

問 工事請負金額の基となるものは何だったのか。

建設課長 県で定める積算基準に基づいて工事費の積み上げを行い直接工事費を算出する。同様に県で定める諸経費を加算した金額で算定している。

問 町民の大きな期待のもとでの駅建設工事が進められている。建物の工事に関して疑問の声もあるが、工事請負契約とはそもそもどのようなことで交わすものなのか。

町長 記載事項については、国で示

された統一様式を使用している。記載されるのは、工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約保証金および特約事項である。特約事項では、議会の議決を要する契約の場合は、仮契約として議決後に本契約となると記載する。道の駅整備は、復興のシンボルとして、町

問 落札業者による安全祈願祭の後に、すぐ着工とならなかったのはなぜか。

問 とは、最初の設計とは別の建物ということになるのではないか。競争入札にかけて請負金額を決めるべきではないのか。

町長 入札の実施や設計者の変更など、行政手続きとして法的に公正に実施してきた。説明が遅れ

建設課長 国道4号の拡幅工事や国の駐車場整備工事、主要地方道浪江国見線の拡幅工事、町道新設工事が施工中で、進入路の確保ができず、その工事が終了後に着工した。

建設課長 規定されている発注者の解除権、受注者の解除権、いずれの条項にも該当しないため、契約の解除とはならず、新たに入札を行う必要はない。

問 契約締結後に変更が行われた。元の設計業者による変更が筋と考えるが、今回はどうだったか。

問 当初の計画どおりに進めれば何の問題も発生せず、全国にも誇れる道の駅ができたものと思う。法的には問題がないのかもしいが、町と議会の信頼関係を損なうことにもつながる。行政がやることとしては、あまりにも大きな疑問が残るのではないのか。

が、今後は適時適切に行っていく。概要については3回町民説明会も行っており、変更はあったが施設の規模や機能など基本的なところは何も変わっていない。今後は、ソフト面で6次化も含めどう進めていくか、議会や町民とも十分に連携を図りながらの対応が大切な課題だと強く認識している。



道の駅オープン案内は国道4号からもよく見える

Q 有害鳥獣問題解決のため 協議会を設立すべきでは

A 関係機関・団体とのネットワークを つくり対応していく

問 全国的に有害鳥獣(クマ)の目撃情報が多発しているが増加要因はどこにあるのか。

放棄地の増加③狩猟者の減少による捕獲圧の低下④原子力発電所事故に伴い、鳥獣生息域での捕獲ができない地域があること、以上が複合的に関係し、深刻化の要因となっている。

問 今後も人里を餌場と認識させないために町民として取るべき行動はあるか。

中間管理機構への仲介制度もある。1反歩あたり県5万円、町3万円という補助制度も実施している。中山間地域等の直接支払制度などもあるので、それら制度も活用して地域の方々の理解と協力を得ながら解消に努めたい。

問 高齢化による捕獲隊不足や各地区における柵設置の労働力不足、併せて子供たちの安心安全のため、対策協議会を設立して解決すべきではないか。

を高め、安全安心を担保することが重要な課題である。耕作者や県、警察、消防や学校関係など、町全体で協議ができる連絡協議会のようなネットワークをどう作るかが非常に重要なポイントだと思う。なるべく早い機会に設置できるよう対応したい。

産業振興課 長 ①温暖化による鳥獣の生息分布域の拡大②農村の高齢化などによる耕作

①温暖化による鳥獣の生息分布域の拡大②農村の高齢化などによる耕作

産業振興課 長 ①鳥獣の生態を理解すること②鳥獣の生息地には複数行動や音の出るものを持参すること③耕作放棄地の解消や餌となる物を放置しないこと④狩猟免許を積極的に取得し、個体数を減らして共生できる環境を生み出すこと、などが必要と考える。

問 有害鳥獣問題は全町民の問題と考え、特に危険なクマの情報は、今後も全地区に出すべきではないか。

町長 作物への被害対策をベースに、いかに町民全体の問題にレベルアップできるかが大切。子どもたち



渡辺勝弘議員

安心安全の確保のために、町民一人一人が共通の課題として認識し、対応してほしい。

産業振興課 長 防災無線での広報は、緊急的な対応をお願いするのが主たる目的で

子どもたち



地元住民が協力して侵入防止柵を設置

Q 道の駅を成功させるための考えは

A ソフト面の取り組みが今後の重要な課題



村上正勝議員

問 道の駅の工事が遅れているようだが、予定どおり平成29年3月の開業に間に合うのか。

すためにも、来春の開業を目指してハード、ソフト両面の整備を進めている。

まちづくり交流課長 国交省と農水省

からの交付金で進めている事業であり、交付要綱などの要件を満た

問 道の駅の経営性はどうのように計画しているのか。

道の駅の経営性については、採算性はどうのように計画しているのか。

問 道の駅の販売金額は、直販のみでの目標達成は大変だと考える。ふるさと

納税を上手に活かして、生産者や納税者に喜ばれ、道の駅の販売増にもつながるような施策は考えているか。

まちづくり交流課長 直売、インフォ

メーション、レストラン、ファーストフード、宿泊・バンケット、コンビニエンスストア、子育て支援の7部門ごとに収支予測をし、道の駅全体で黒字を目指す。

開業後の運営管理、収支バランスに万全を期すよう、広報、営業などの戦略を練り上げ、すでに着手している業務もある。

総務課長 4月からふるさと納税者へのお返し

の金額を大きく変更した。特産品の種類も拡大を図り、桃に限っては品種ごとに注文を受けるなど工夫を凝らしている。インターネットからも申込みができるようにした。出品者には小売りの販売額で代金が入り、道の駅を運営するまちづくり会社には手数料が入るよう配慮した。

町長 「みんなで作って」

「みんなで作って」市民のベース作りをし、しっかりすることが必要である。関係自治体などとの連携をどう経営に結びつけるかも含め、ソフト面でもどうしていくかが今後の重要な課題と認識している。議会や町民とも相談しながら対応していきたい。

問 道の駅は町を左右する

事業である。国見の魅力を発信して国見に住みたいと思っても、定期的な道の駅でイベントを開催して町の情報発信基地とする計画はあるか。

町長 道の駅そのものが情報発信の拠点と考えている。食文化や歴史・観光、イベントの情報発信など、各種報道機関と連携し、情報をいかに外に出していくかが重要な課題である。応援団ツアーやふるさと納税、交流自治体などとの連携を図りながら、縦横無尽にでき得るものをリストアップし、チャレンジしていくことが必要である。



商標登録もされた国見バーガーなどのソフト面を推進

※一部事務組合報告

※一部事務組合とは
複数の市町村などで
行政サービスの一部を共
同で行うために設置す
る組織

医療機器を新たに 整備

藤田病院組合議会

3月25日、第1回定例会
が開催され、27年度補正予
算や高度化する医療への対
応などのため医療機器を整
備する28年度当初予算、職
員の給与や勤務時間等の条
例改正の3議案を可決しま
した。

平成28年度当初予算

◆収益的収支予定額

収入・支出

60億3697万円

◆資本的収支予定額

収入 1億6764万円

支出 4億8800万円

(資本的収支の不足分は、
過年度分損益勘定留保資金
で補います。)

(報告者 松浦常雄)

監査委員に

佐藤徳正氏を選任

伊達地方消防組合議会

3月28日、第1回定例会
が開催され、佐藤徳正町代
表監査委員(森山)が、伊
達市の菊地邦夫議員(保原
町)と共に消防組合の監査
委員に選任されました。

提出された議案は11件
で、27年度補正予算、救急
自動車や救急工作車の購入
2億円を含む総額16億47
00万円の28年度当初予算
など、すべて可決されまし
た。

(報告者 渡辺勝弘)

副議長に八島博正 議員を選任

伊達地方衛生処理 組合議会

3月28日に第1回議会定
例会、5月20日に第2回臨
時会が開催されました。

第1回定例会では、27年
度補正予算、仮設焼却炉の
運転にかかる除染事業費36
億円など総額46億2220
万円(一般会計、し尿処理
特別会計、ごみ処理特別会
計の合計)の28年度当初予
算など12件が審議され、す
べて提案のとおり可決しま
した。

第2回臨時会では、平成
28年度ごみ処理事業特別会
計補正予算の専決処分を承
認したほか、当町の八島博
正議員が副議長に選任され
ました。また、監査委員に
は、桑折町の岩崎久男議員
が選任されました。

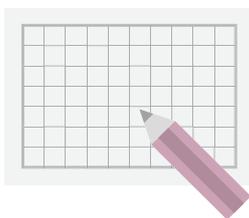
(報告者 八島博正)

「私もひと言」原稿を募集

「私もひと言」と題して、議会
だよりにみなさんからの意見や
要望、議会を傍聴した感想など
を掲載します。

日頃から思っていること何で
も結構です。字数は600字(400
字詰め原稿用紙1枚半)程度で
す。どしどしお寄せください。

広報常任委員長 渡辺勝弘
(事務局 TEL585-3295)



議会傍聴をしてみませんか

次の定例会は9月6日開催予定です

●手続きは簡単です!

受付簿に住所・氏名などを記入するだけで気軽に
傍聴できます。

●議案資料を準備します!

議案審議がわかりやすくなるよう、傍聴者には
議案資料を提供します。

詳しくは議会事務局へ
お問い合わせ下さい。
TEL 585-3295 (直通)



町の上水道の実態を調査

産業建設

5月13日、上下水道課の所管事務調査を行いました。

①町の水道施設②水道料金③今年度予定している水道事業の主な事業の3点について説明を受け、国見受水施設（泉田大字三ツ谷）の現地を視察してきました。



町内への給水元を視察

6月9日、建設課の所管事務調査として、道の駅建設工事について説明を受けました。

説明と質問が行われた結果、おおむね全員が理解し、今後道の駅建設は、オープンに向けて工事を進めていくことが重要と考えます。
（報告者 阿部泰藏）

子どもたちの学習状況や給食の現状を確認

総務文教



子どもたちは授業に真剣に取り組んでいます

5月26日、学校教育課の所管事務調査で国見小学校、給食センターの2か所



給食試食の前に献立のポイントを確認

を視察してきました。

①国見小学校
阿部雅好校長より学校経営の概要の説明後、3校時の授業参観を行いました。
②給食センター
村上正幸所長より給食センターの概要などの説明

後、マイコンスライサー更新について説明を受け、視察しました。
また、上原子昌代栄養教諭より給食指導や献立について説明があり、実際に給食の試食を行いました。
（報告者 松浦常雄）

町村議会広報研修会

議会活動を広く知らせるために

広報

5月20日、郡山市ビッグパレットふくしまで町村議会広報研修会が開催され、広報委員5人で参加しました。



他町村議会広報紙をもとに改善点を学ぶ

議会広報サポーターの芳野政明氏を講師に、議会活動が伝わるための広報紙の基本と編集技術を研修してきました。「伝える」広報から「伝わる」広報に変えていけるよう、読者（町民）の立場に立った編集を心が

け、読みたくなる議会だよりの作成にまい進していきます。

（報告者 渡辺勝弘）

傍聴者からの

声

「活気のある議論を望む」

6月議会を傍聴したみなさんからアンケートによりたくさんの意見をいただきました。

- 議員も町も活気がない。持ち時間をギリギリまで使って泥臭さがある議論がほしい。(50代・男性)
- 前回より傍聴者が増えて良かった。居眠りしている議員がいた。(60代・男性)
- 質問者が同じ。今回質問しなかった議員は次回必ず質問してほしい。(60代、70代・男性)
- 配布された通告一覧表の答弁者はすべて町長だが、実際の答弁者はほとんど担当課長。町長の下に担当課長も書いたほうが良いのでは。(60代・男性)
- 質問が甘い。質問者、午前・午後の部どちらになるか広報紙に入れてほしい。(不明)
- 観光スポットの質問は誠意的を射た質問だが、町の回答は的外れであり残念。(60代・男性)
- 人口減少が進み、地方議会の役割は重い。人口減少対策や町の活性化について議会の真剣な討論を期待する。(70代、80代・男性)
- 町議会の方々が、傍聴者に挨拶をしていないのが残念。(70代・女性)
- 改めて議員は、町民の代表であることを自覚し、情報収集や質問の視点を見極めることなどが一層重要と考える。(60代・男性)
- 道の駅を核とした各観光スポットとの連携は、エコミュージアム(国見全体を博物館と捉えること)の考え方に基づいて計画を見直すことだと思う。(60代・男性)
- 町の考えている観光スポット対応策では、町外の人々が集まるのには期待が薄い。(60代・男性)
- 透明のアクリル板のため、前列は議会席から見えてしまい女性が座れない。(不明)



初めての方にもたくさん来ていただきました

議会の動き

6月21日 ~24日	6月議会定例会
6月21日	総務文教常任委員会、産業建設常任委員会
6月22日	広報常任委員会
6月24日	議会運営委員会、議員懇談会 町給食センター納品組合第16回通常総会
6月25日	町結婚世話やき人募集説明会
6月26日	第3回国見町に咲く中尊寺蓮を観る会開花式
6月30日	広報常任委員会
7月5日	伊達郡町村議会議長会議(福島市)
7月7日	自衛隊国見町父兄会総会(桑折町)
7月8日	広報常任委員会 「道の駅国見」および「道の駅施設」愛称選定審査委員会
7月14日	伊達地方消防組合議会全員協議会・臨時会、 広報常任委員会、町交通対策協議会、 第21回義経まつり第2回実行委員会
7月15日	伊達郡町議会議員大会(桑折町)
7月20日	議員懇談会
7月21日	議会OB会総会(福島市)
7月23日	森山野夏祭り
7月29日	英語指導助手歓迎会

松浦長明さん (元町議会議員)

旭日単光章受章

元町議会議員の松浦長明さん(大木戸)が、平成28年春の叙勲で旭日単光章を受章されました。

松浦さんは、町議会議員としての5期20年の間、農林常任委員長や議員定数問題特別委員会委員長などを務められました。地方自治の振興発展、住民福祉の向

上に寄与された功績が認められての受章です。



こ自宅で阿部振興局長から伝達

国見町議会を傍聴して

くみみ議会議だよりで、国見町議会定例会開催を知りました。

今、町内の大きな問題は、道の駅の建設、歴史まちづくり、それから5年にわたり苦しめられ、今なおその先が見えてこない除染や風評被害等、これから発生してくる自然環境、生活環境に関わる被害等々数え上げればきりがないう状況だと感じていました。

くみみ議会議だよりに、これらの諸点に関する質疑応答がなされることが記してありましたので、議会傍聴に参加した次第です。



内池 育男さん
(宮町南町内会)

会議室は前の庁舎よりは一回り小さく簡素な造りですが、議員数もだいぶ少なくなっており、こぢんまりとまとまった感じでした。

質疑のやりとりは明瞭に聞き取れました。

議員の皆様の質問、町各部門の答弁等々、それぞれ一生懸命さが感じられ、普段は目に見えてこない陰の部分のご努力も感じられました。

どれを取っても一筋縄ではすんなりと解決できる事案はないと存じますが、町発展のためにご健闘をご祈念申し上げます。

子どもたちにおいしく安全な食を

～学校給食を試食～

教務文
務任委
総任委
常任会



5月26日、総務文教常任委員会で国見小学校と給食センターを視察しました。

給食センターでは、議員も給食を試食し、子どもたちの食について考えました。栄養バランスがよく工夫されており、おいしくいただきました。

(詳細は16ページをご覧ください。)

6月の定例会は、6月21日から24日の4日間の会期で開催されました。

傍聴者は、合計して45人であり、短い期間でしたが、多くの方に関心を持っていただいたと感じております。

また、議会の傍聴に何回か来ているが、質問者は明瞭・簡潔に大きな声で質問して頂きたい、との声が多く聞かれました。

議会議だよりの編集は、前年度より広報常任委員会で行っており、分かりやすい紙面作りを心掛けております。

今後とも議会活動に、より一層のご理解をいただきたいと思っております。

(村上 一)

発行責任者

議長 東海林一樹

広報常任委員会

委員長 渡辺 勝弘

副委員長 佐藤 定男

委員 浅野 富男

同 阿部 泰藏

同 松浦 常雄

同 村上 一

